

# 梅の里



12月号

令和6年

11月29日(金)発行

## 自ら学びに向かう子—自立した学習者—を目指して

校長 四十住 基子

飯田小では「学びが楽しい飯田小」を合言葉に、学びを楽しみ、自ら学習に向かう子を目指して取り組んでいます。一つは授業の充実です。授業では、どの児童も伸ばすため、全員参加、体験学習、学校生活や社会生活に生きる学習を重視し、個別最適化された学びと相互に学び合い教え合う協働的な学びを配置しています。それは、学習指導要領にある「主体的・対話的な深い学び」と重なります。もう一つ、今取り組んでいるのが「自学ノート」の充実です。自分で内容を決めて取り組みます。毎日、頑張った児童のノートの写真が全校で紹介されます。その日の授業の復習をしたり、漢字練習や計算ドリルをしたり、自分の疑問を持ち帰って、調べてまとめてみたりしています。時間をかけて、工夫して取り組んだことが伝わり、見応えがあります。宿題+α学習をすることで、自ら学ぶ意欲と家庭学習の習慣を小学校時代にしっかりと身に付けてほしいと思います。この習慣は一生涯続く宝となるはずです。

ある日の6年生体育「マット運動」の様子を紹介します。単元での学習が進み、この日はこれまでの学習を踏まえ、挑戦の時間でした。体育館には、四か所にマットが敷かれています。開脚後転、伸膝後転、後転倒立等、自分の力に合わせて挑戦したい技を選びます。児童たちは、それぞれに散って練習。その中で、自力解決したり、友達や先生からアドバイスをもらったりして協働的にも学びます。また、ICT機器を活用し、試技が数秒遅れて映し出される大型モニターの配置もあります。即座に、自分の試技を確認することができるようになっています。「腕を伸ばすといいな」「もう少し勢いがあるといいのかな」と自分で確認したり、友達同士指し示しながら教え合ったりすることができます。このように、皆で一様に学ぶだけでなく、個々の選択に応じて練習できたり、自分の課題を知って必要なアドバイスがもらえたりして、習得のスピードが上がっていくのがわかります。うまくいかなくても、何度も何度も挑戦し、最後にはコツをつかんでいく6年生の姿が価値ある学びの姿だなと思いました。

一方で、或る日の登校指導中にこんなつぶやきも聞きました。「なんで漢字を覚えなくちゃだめなの。」大人の皆さんは、どう話されますか。(私は、勉強したくない、ということではなく、覚えたいのに難しいと感じているのだな、と受け止めました。)一緒に勉強のこつを考えるのもよいでしょうし、もしも世の中から漢字がなくなったらどうなるかな?と返したり、自分の失敗談を語ったりするのもよいでしょう。その子の困り感に寄り添って付き合う時間が重要だと思います。今の飯田小は、少人数なので今まで以上に可能です。自分の困り感を素直に伝えてくれる状況を活かし伸びたい気持ちを引き出しながら、手だてを尽くし、できた喜びを積み重ねていきたいものです。

# 12月の行事予定

日	曜	行事・会議
1	日	
2	月	振替休業日（11月30日）
3	火	司書 ICT支援員 特別支援サポート 評価問題
4	水	SDGs 合同学習 学校評価アンケート（～11日）
5	木	朝の読み聞かせ
6	金	ALT
7	土	
8	日	
9	月	かがやき集会 児玉 SC 米林 SC
10	火	いじめ・携帯アンケート 人権集会 特別支援サポート
11	水	避難訓練・クラブ（15:30 下校） 児玉 SC 薬物乱用防止教室5・6年生
12	木	おはよう挨拶運動 児玉 SC SDGs 学習
13	金	街頭指導 後藤 SC
14	土	3年生親子会
15	日	
16	月	全校朝会 安全点検・防犯ブザー点検 児玉 SC
17	火	司書 特別支援サポート 珠洲の未来を考えるワークショップ
18	水	クラブ（15:30 下校） 児玉 SC
19	木	朝の読み聞かせ 後藤 SC 租税教室
20	金	ALT 児玉 SC
21	土	
22	日	
23	月	児童総会・校外子ども会
24	火	終業式・2学期通知表渡し
25	水	冬季休業開始（1月7日まで）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	



# 1月の主な予定

- 8日（水）3学期始業式 委員会  
書初め大会（展示～10日）  
全校児童 14：30下校
- 10日（金）いじめ・携帯アンケート  
ALT
- 14日（火）かがやき集会 指導主事訪問
- 15日（水）街頭指導 クラブ  
全校児童 15：30下校
- 16日（木）朝の読み聞かせ
- 17日（金）おはよう挨拶運動 ALT
- 20日（月）全校集会
- 21日（火）司書
- 22日（水）全校児童 14：30下校
- 24日（金）なわとび集会・授業参観  
中学校入学説明会 ALT
- 29日（水）全校児童 14：30下校
- 31日（金）新入生入学説明会 ALT

## 一作品表彰一

**親子の架け橋一筆啓上 親子の手紙**  
優良賞 2年 寺山 碧衣

**県児童硬筆書写作品コンクール**  
特選賞 4年 宮田 泰成  
5年 瀬戸谷結芽  
5年 宮下 佳子  
入選賞 4年 安川 すず  
6年 川元 大

**県読書感想文コンクール**  
優良賞 3年 川元 祥

**日本トイレ大賞 2024**  
特別賞 4年 井田 旭陽

**マイクロバスデザイン**  
入賞 2年 濱田 乃愛

**12月24日（火）13:30～**  
**2学期 通知表渡し**

個人懇談について時間的に都合が悪く、変更される場合は事前に担任までご連絡下さい。



## 11月1日(金) 学校公開「授業参観」「家庭教育講座」

1年生の保護者を対象に給食試食会と栄養教諭による食育講座を行いました。全校対象の授業参観には、保護者の方にも参加していただいたクラスもあり、子ども達もとても嬉しそうでした。

また、「家庭教育講座」は、スクールカウンセラーの米林先生をお迎えし「災害と子どもの心 ケアと対応」というテーマでお話を伺いました。子どもは身近な大人の心理状態の影響を受けやすいこと、子どもの心の変化や反応については、まず受け止めること、そして、できる範囲で、一人ではなく、みんなで対応することが大切であると教えていただきました。

### 授業参観



### 家庭教育講座 保護者感想



講師の先生の話聞いて自分自身の子どもへのかかわり方について見直すことができました。何かをしながら子どもの話を聞いたり、自分自身のことを優先して、我が子にかまっていないことがあったりすることを反省しました。もっと遊ぶ時間をつくろうと思いました。

子どもはみんな元気そうに過ごしているように見えていますが、本当はどうなのかなと思うことは多少なりともありました。その子ども達の少しの変化など気づいてあげられるのか不安もあったのですが、今日の話で身体を向き合わせて目線を合わせて話すだけで距離感が近くなり打ち解けることができる環境ができ、話しやすい雰囲気も作っていいのではないかと気づくことができました。子どもとのコミュニケーションを私達大人も楽しみながらストレスを軽くして過ごしていけたらと思います。

## 11月5日(火) 鼓笛引継ぎ式

思うように練習ができない中、運動会・いいフェスで素晴らしい演奏をしてくれた4・5・6年生。3・4・5年生へ楽器と共に「6年生のたくさんの思い」も無事引き継がれました。初めて鼓笛に加わった3年生もやる気一杯です。2学期中は、6年生が教えてくれることになっています。



### 鼓笛新体制

部長：宮下佳子

副部長：青木咲空

指揮者：濱 心花

トロンボーン：新谷蒼汰

トランペット：濱野夢萌子

ホルン：宮下佳子

打楽器：濱田鉄馬

## 11月8日(金) マラソン大会

例年のマラソンコースは震災の影響で使用できない中、どうしたらマラソン大会を開催できるのか6年生が話し合いました。その結果、市営陸上競技場に舞台を移し、新しい形でマラソン大会を行うことになりました。代表委員長 新 泰地さんが「新しい伝統を作りましょう！」と力強く挨拶をし、新しいマラソン大会が始まりました。走る場所は変わりましたが「仲間を思いやる気持ち」や「最後まで諦めず走りぬこうとする気持ち」は、これまでと変わらず素晴らしい姿の飯田っ子でした。



### 令和6年度 飯田小学校 新マラソン大会 入賞者

1年生	1位 比古咲陽大	2位 前田 音琶			
2年生	1位 和嶋晃太郎	2位 龍泉ちなみ	3位 大畠 怜	4位 大貫 洋	
3年生男	1位 川元 祥	2位 向 悠水			
女	1位 大貫 二栴	2位 濱岡 玲花			
4年生男	1位 新 幸祐	2位 宮田 泰成			
女	1位 比古咲麗心	2位 安川 すず			
5年生男	1位 濱田 鉄馬	2位 千場 惺湧			
女	1位 濱 心花	2位 宮下 佳子			
6年生	1位 新 泰地	2位 藤野 結大	3位 浅井 敬祐		

今年度の記録は、新マラソン大会として校内に歴代記録を掲示いたします。



## 11月18日(月) オーケストラアンサンブル金沢

北國銀行の方が復興応援コンサートを企画し、声楽家の仲谷響子さんやオーケストラアンサンブル金沢の方が来てくださいました。本物の演奏に触れるよい機会となりました。また、6年 川元さん、藤野さんのピアノとオーケストラアンサンブル金沢さんの演奏で、飯田小学校の校歌を歌いました。子ども達の歌声と仲谷さんの歌声がプレイルームに響き渡っていました。



### 家庭学習強化週間

自学に取り組みました。興味関心のある内容、学習したことを確実にする内容、学習したことを更に発展させた内容など、どの学年も自ら学ぼうとする姿が見られました。是非、お子さんの自学ノートをご覧ください！